

令和8年度 第2回 技術研修会 プログラム

- 1 開催日 令和 8年 7月 14日(火)
 - 2 場 所 北九州市生涯学習総合センター 31学習室
北九州市小倉北区大門一丁目6番43号
 - 3 受 付 13:00 より
 - 4 研 修 13:30～16:50 [3部構成]
- ※ 1部、2部 賛助会員 株式会社ヤマウチ コーディネイト

【第1部】管渠更生工法の概要とFEMを用いた複合管構造解析について

研修時間 : 13:30～14:30(質疑応答含む)

講 師 : 日本SPR工法協会(講師:積水化学工業株式会社 栗脇真史)

管きょ更生工法の施工実績は 12,000km を超え、管路施設の改築などを行う上で必要不可欠な技術となっています。今後も、日本全国で発生している大規模地震に対する耐震化や、経年に伴う施設劣化が進んでいくことから、ますます需要が見込まれています。

研修では、管きょ更生工法の概要や新工法を含む日本 SPR 工法協会保有工法の解説、及び、FEM を用いた複合管構造解析を講義します。

【休 憩】 :～14:40

【第2部】マンホール更生および管理人孔構築工法について

研修時間 : 14:40～15:40(質疑応答含む)

講 師 : ハイブリッドマンホール協会(講師:株式会社アイビルド 小松紗恵子)

日本下水道協会7月発刊予定の「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン」にマンホール更生が掲載予定となるなど、マンホール更生の設計委託業務の増加が見込まれます。

研修では、自立マンホール更生工法「SSホールシステム」「GSホールシステム」とともに、管更生で問題となっている“中間人孔構築”について解説します。

【休 憩】 :～15:50

【第3部】(仮称)PC ウェル工法による下水道施設への活用について

研修時間 : 15:50～16:50(質疑応答含む)

講 師 : 日本ヒューム株式会社 (講師:調整中)

近年、下水道事業においては、建設業界の人手不足や安全確保、施工の効率化が大きな課題となっています。本発表では、プレキャストコンクリート部材を活用した PC ウェル工法に着目し、その特徴や下水道施設への活用事例について解説します。

立坑築造に加え、雨水対策施設への適用や狭隘地での施工など、多様な活用可能性を示すとともに、省人化や安全性向上、施工管理の効率化に寄与する効果について解説します。